

SG320

簡易取扱説明書



ロングレンジ CCD バースコードリーダ SG320 (以下、本機) をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前に必ずこの簡易取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、お読みになられた後は、大切に保管願います。本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

■表記上のお約束

- 注意** 本機を使用する際に注意していただきたいことを説明しています。
- メモ** 本機を使用する際の補足的なことを説明しています。

特長

- 先進のロングレンジ CCD スキャン技術を採用したバースコードリーダ
- オペレータの手によくなじむガンタイプ
- GS1 DataBar (旧称: RSS-14)、GS1 DataBar Limited (旧称: RSS Limited)、GS1 DataBar Expanded (旧称: RSS Expanded) バースコードおよび 2 次元バースコードの PDF417 の読取りが可能
- 1.5 メートル高からコンクリート床への落下に耐える頑丈さ

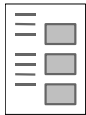
梱包内容の確認



本体



簡易取扱説明書
(本書)



追加セットアップ
マニュアル



Users Manual
(英語版)

安全上のご注意

ご使用になる人やその他の人への危害や財産への損害をあらかじめ防止するため、本製品のご使用前に必ず本内容をよくお読みになり、お守りくださるようお願いいたします。

■本書の記載内容を守らない使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で説明しています。

危険	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は「損害を負う可能性または、物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵区分で説明しています。

表示	内 容
	この記号は、してはいけない「禁止」の内容です。
	この記号は、「分解」を禁じる内容です。
	この記号は、「覗き込むこと」を禁じる内容です。
	一般的な機器の取扱上で何らかの注意が必要で、人に何らかの危害または、機器に何らかの障害が起こる可能性があることを促す警告表示です。
	故障により、人に何等かの危害または、機器に何等かの障害が起こる可能性がある場合、パソコンの USB ポートから抜くことを促すための警告表示です。

危険	分解したり改造したりしないでください。ショートや発熱より、感電ややけど・火災の原因となります。
-----------	---

警告	万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。本機接続 USB ケーブルをパソコンから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。
	万一、機器の内部に水などが入った場合は、まず本機接続 USB ケーブルをパソコンから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず本機接続 USB ケーブルをパソコンから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	万一、この機器を落としたり、機器のケースを破損した場合は、本機接続 USB ケーブルをパソコンから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	接続 USB ケーブルが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	接続 USB ケーブルの上に重い物をのせたり、コードが機器の下敷きにならないようにしてください。接続 USB ケーブルが傷ついて、火災・感電の原因となります。
	接続 USB ケーブルを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。接続 USB ケーブルが破損して、火災・感電の原因となります。

注意	油煙や湯気があたるような場所、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	濡れた手で接続 USB ケーブルを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
	接続 USB ケーブルを抜くときは、ケーブルを引っ張らないでください。ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となります。

注意

表示	内 容
	本機器のお手入れの際には、安全のためまず本機接続 USB ケーブルをパソコンから抜いて行ってください。火災・周囲を汚損する原因となることがあります。
	落下させたり、強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	小児には使用させないでください。
	直接日光のあたるところや炎天下の車内、火のそば、ストーブの前面など高温の場所に放置しないでください。

使用上のご注意

本機の性能を損なわずに正常に動作させるため、下記の事項に注意してください。

- 本機に過度のストレスを加えないでください。故障の原因になります。
 - 次のような場所には設置しないでください。誤動作や故障の原因になります。
 - ・ 直接日光の当たる場所
 - ・ 磁界や誘導ノイズが発生する場所
 - ・ ほこりの多い場所
 - ・ 湿度の高い場所
 - ・ 水の近くや水のかかる場所
 - ・ 振動や衝撃がかかる場所
 - ・ 温度が極端に高い場所
 - ・ 温度が極端に低い場所
 - ・ 不安定な場所
- また、保管の際も上記の環境にご留意ください。
- 本機は絶対に分解しないでください。
 - 本機は、設定データ保存用に不揮発性メモリを搭載しています。本機への設定を行っている最中に USB ケーブルを抜かないでください。データが破壊され、誤動作を起こす可能性があります。
 - 本機を清掃する場合は、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れのひどい場合は、中性洗剤を薄めたものを少量含ませた柔らかい布で内部に水分が入らないように拭いてください。

インストール及び接続方法

USB インターフェースケーブル付きの本機をパソコンの USB ポートに接続してください (図 1 をご参照ください)。パソコンは本機を USB 機器として認識し、自動的に必要なドライバを設定更新します (オペレーティングシステムはドライバをインストールするためにセットアップ CD を必要とするかもしれません)。

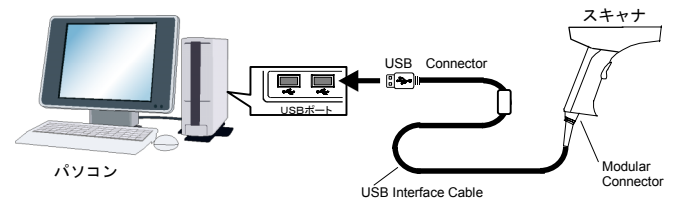


図 1. 接続図

操作方法

本機をパソコンに接続後、キーボード入力可能なアプリケーション (エディタ、ワープロ) を起動してバースコードを読み取らせてください。バースコードを読み込むと本機は「ビップ」とブザーを鳴らします。パソコン上のアプリケーションに読み込んだバースコードのデータが表示されていれば、本機が正常に USB 機器としてパソコンに認識されています。



本機の外観

- **LED** は緑色に点灯します。
消灯…通電状態で、読取り許可状態を表します。
緑…読取り完了時に点灯します。

- **読取り口**
バースコードの読取り口です。

- **読取りスイッチ**
スイッチ ON 時、CCD が発光しバースコードの読取りができます。



動作パラメータの理解

ある動作パラメータは色々なアプリケーションで動作するように設定することができます。設定は Users Manual のバーコードラベルを使用して行ないます。以下に主要な設定項目を説明します。

- メモ
- * 《Default》は本機のデフォルト設定値を表します。
「初期化」ラベルを読取ると設定されていた全ての項目が * 《Default》 へ戻ります。
- メモ
- * 《出荷時設定》は弊社からの出荷時に設定している項目です。
弊社出荷時は Keyboard Layout 設定のみを * 《Japan》 に変更して出荷しています。

●Scanning mode：読取りスイッチモード

本機には以下のスイッチモードがあります。

- * Momentary (モーメンタリスイッチ)：* 《Default》

スイッチを押している間のみCCDが点灯します。

- * Alternate (オルタネートスイッチ)：

スイッチを押し離し動作毎にCCDの点灯／消灯が切り替わります。

- * Continue (連続読取りスイッチ)：

CCDが点灯しっぱなしのモードです。

●Keyboard layout：国別設定（キーボード仕様）

- * USA (U. S. キーボード)：* 《Default》

米国英語仕様キーボード (101 キーボード等)を使用する時は、《USA》を選択してください。

- * Japan (Japanese キーボード)：* 《出荷時設定》

日本語仕様キーボード (106 キーボード、109 キーボード等)を使用する時は、出荷時設定のままでご使用ください。

注意

Keyboard Layout 設定のデフォルト値は、《USA》となっています。日本語仕様キーボード環境下で、デフォルト状態でバーコード読取りを行なうと、記号（‘+’、‘*’、‘(’、‘)’等）の送出データが化けます。《Japan》を設定してからバーコード読取りを行なってください。

●Inter-Character Delay：文字間ディレイ

本機が最初の文字を送った後で次の文字を送る前に待つ時間間隔です。本機によって送られたデータが正しくないか間違った文字である場合、文字間ディレイ時間を長く設定してください。

●Numeric key：数字キー出力設定

- * Alphabetic key (フルキー側数字キー出力)：* 《Default》

数字データは、フルキー側の数字キーを出力します。

- * Japan (Japanese キーボード)：

数字データは、テンキー側の数字キーを出力します。バーコードを読取るときは、キーボードの Numlock を On 状態してください。

- * Alt+Keypad (ALT キーモード)：

MS-DOS の機能を利用して ALT キーと数字キーパッドのキーによる文字を出力します。本機は読取ったバーコードの各文字を表すために ASCII 組み合わせコードを送出します。システムが ALT キーの出力を受付ける場合、このモードが使用可能で、「Caps lock」設定 と 「Keyboard layout」設定の選択を無視します。

●Caps lock：Caps ロック状態

パソコンのキーボードの Caps-Lock の状態に合せてください。

- * Caps lock “ON” (ON固定)：

キーボードがシフトしている状態 (Caps-Lock がON状態) で、バーコード読取りを行なう時は、「Caps lock “ON”」を選択してください。

- * Caps lock “OFF” (OFF固定)：* 《Default》

キーボードがシフトしていない状態 (Caps-Lock がOFF状態) で、バーコード読取りを行なう時は、「Caps lock “OFF”」を選択してください。

仕様

読 取 り バ ー コ ー ド	JAN-13/8、EAN-13/8、UPC-A/E、インターリーブド 2of5、インダストリアル 2of5、CODABAR (NW-7)、CODE39、CODE93、CODE128、GS1-128 (UCC/EAN-128)、GS1 DataBar (RSS-14)、GS1 DataBar Limited (RSS Limited)、GS1 DataBar Expanded (RSS Expanded)、PDF-417
読 取 り 方 式	浮上読取り CCD 方式
分 解 能	0.1mm (CODE39、PCS=90%時)
読 取 り 距 離	0mm～250mm (CODE39、20mil、PCS=90%時)
読 取 り 確 認	ブザー
動 作 状 況 表 示	1色LED (緑)
イン タ ー フェ ース	USBインターフェース
供 給 電 源	パソコンのUSBポートより供給
寸 法	78(W)×101(D)×187(H)mm
重 量	約 187g (本体のみ)
使 用 温 度	0～45℃
使 用 湿 度	5～90% (非結露)
保 存 温 度	-40℃～60℃
保 存 湿 度	5～90% (非結露)

お問い合わせ

■一般的なお問合せ・Web 販売について
株式会社システムギアダイレクト

〒665-0045 兵庫県宝塚市光明町 30 番 12 号
TEL：0797-74-1114
FAX：0797-74-2212
E-Mail：Web-buyer@nsd-inc.co.jp

■技術的なお問合せについて
サポートデスク

E-Mail：support@nsd-inc.co.jp
TEL：0797-74-1114
FAX：0797-74-2212

サポートサイト

URL：<http://www.systemgear.co.jp/support/>

最新情報

URL：<http://www.systemgear.com/sales/>

■修理・保守について
株式会社システムギアダイレクト

〒665-0045 兵庫県宝塚市光明町 30 番 12 号
TEL：0797-74-3575
FAX：0797-74-2212
E-Mail：repair@systemgear.co.jp

製品保証情報

URL：<http://www.systemgear.com/warranty/>

オンライン修理受付

URL：<http://www.systemgear.com/rp/>

Microsoft、Windows は米国及びその他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。
その他本書に記載されている会社名、製品名は各社の登録商標です。

2009/12 第 1 版 (GW05KA013-1)

SystemGear
Always the next news